

# 第20回ものづくり教育・学習フォーラムの実施結果について

こども文教委員会  
令和4年2月25・28日

教育委員会事務局 資料4番

所管 指導課

## 事業の目的

- ものを創る感性、主体的な態度、工夫・創造する能力の育成
- ものづくりの重要性や技能、技術が果たす役割の理解、地域産業の重要性や、ものづくりを支える勤労者を尊敬する態度、望ましい勤労観や職業観の育成
- 技術立国日本、ものづくりのまち大田の将来を支える人材の育成
- ものづくりへの興味・関心、社会・産業の理解の涵養による、地域への愛着の深化

## 実施団体等

- 主催 大田区教育委員会
- 共催  
大田区・(公財)大田区産業振興協会・大田区立小学校長会  
大田区立中学校長会・大田区教育研究会  
大田区立小学校PTA連絡協議会  
大田区立中学校PTA連合協議会
- 協力団体・企業等  
達磨の会・おおた少年少女発明クラブ・(有)エスエスケー・  
(一社)大田工業連合会・キャリアクリアリング・  
東京都立城南職業能力開発センター大田校・  
蒲田女子高等学校・東京都立つばさ総合高等学校・  
東京都立六郷工科高等学校・東京都立矢口特別支援学校・  
大田区に昆虫の楽園を作る会・(株)ジャンメ・スマイルリンク(株)・  
東工大 Science Techno・大田区建築あっせん事業連絡協議会・  
六郷 BASE・蔵前理科教室ふしぎ不思議(くらりか)・  
東京都洋裁技能士会・東京都職業能力開発協会・日本赤十字社・  
東京蒲田ロータリークラブ

※ \_\_\_\_\_ 下線は令和3年度新規

## 事業の沿革(経過)

- 平成12・13年度、14・15年度、16・17年度に文部省(文部科学省)「ものづくり学習振興支援事業推進地域」として指定  
平成12年度よりものづくり学習振興協議会の設置・開催
- 平成14年度よりものづくり教育・学習フォーラムの実施  
(過去数年の来場者数 第12回4141名 第13回5515名 第14回7919名 第15回6850名 第16回9646名 第17回7953名 第18回6469名 第19回中止)
- 令和2年度 厚生労働省事業「地域発! いいもの」に選定

## 本年度の事業内容

日時：令和4年1月15日(土) 9:00~16:00

会場：大田区産業プラザP i O 対象：大田区内小中学生、区民

### ○作品展示

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止

### ○舞台発表

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止

### ○ものづくり競技会

区内中学校代表生徒による  
木材加工とソーイングの技術・  
家庭科の技能コンテスト  
午前・午後合わせて約4時間  
で作成



### ○ものづくり体験

ふしぎな「6角返し」おりがみ・ペン立て・紙芝居作り・  
箕編みの壁掛け・貝殻アート・紙コプター・種の標本・  
ギシギシプロペラ・バランストンボ・BWB・  
虹色スコープ・はたおり体験・巾着袋・ネームプレート・  
ロケットを組み立てよう・はんだづけ体験



## 本年度の成果と課題

参加者：2191人(体験コーナー参加児童・生徒：356人、ものづくり競技会参加生徒：38人)

- 【成果】・新型コロナウイルス感染症対策として、「ものづくり体験」は電子申請による事前申込み制、「ものづくり競技会」は見学者を入れずオンラインによるライブ配信等を実施することができた。
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、「作品展示」と「舞台発表」を中止とし、大展示ホールは「ものづくり体験」のみになったことで、広々と会場設営をすることができ、座席の間隔を広く待機場所を確保することで、大きな混乱なく実施することができた。
  - ・東京蒲田ロータリークラブから御支援をいただき、「ものづくり協議会」の各賞に副賞の提供をいただいた。(木工部門の最優秀賞は3Dプリンター、ソーイング部門の最優秀賞はミシン) また、会場には、のこぎり体験コーナーを設置していただき、多くの子どもたちがのこぎりで木を切る体験をすることができた。
- 【課題】・新型コロナウイルスの影響により縮小開催となったが、感染症対策をさらに実施しながら、開催の方法について今後検討していく。